

会派代表質問

自 民

中野 修 議員



新型コロナウイルス接種・社会資本整備事業・自主財源確保について

新型コロナウイルス接種について
問 接種券及び予約案内の発送、接種場所、接種が開始された時期、接種の状況等、ワクチン接種に関連した一連の流れについて説明いただければと思います。

答 接種券は、優先的に接種を行う65歳以上の高齢者に対し、4月20日より年齢の高い方から順次発送し、5月6日に発送が終了したところがございます。ワクチン接種の状況は、4月15日より医療従事者への接種を開始し、接種に携わる医師や看護師は5月17日に接種が終了したところでございます。その後、高齢者施設等への入所者及び従事者の接種を開始し、これまでに11施設が完了しました。歯科医師及び薬剤師の方は、6月11日におおむね完了する見込みでございます。また、65歳以上の接種につきましては、集団接種に加え、市内医療機関による個別接種が可能になり、市内16の医療機関で実施しております。集団接種につきましては、保健文化センター、大網白里アリーナ及び農村環境改善センターに大網病院を追加し、4か所の会場を設け、6月12日から大網病院を皮切りに実施いたします。集団接種の予約につきましては、6月1日より開始されておりますが、予約時の混雑を緩和するために、80歳以上の方を対象に予約受付を開始したところでございます。

問 65歳未満の方、基礎疾患を持っている方への接種券及び接種案内の発送、予約の開始時期、いつ頃接種ができるのか、今後の流れについて、お答えいただければと思います。

答 国からの接種順位に基づき、65歳以上の高齢者の接種を7月未まで

に完了できるよう鋭意努力しております。したがって、65歳未満の方及び基礎疾患のある方の接種時期につきましては、65歳以上の方の接種がおおむね完了した時点からとなります。65歳未満の方への接種券の発送時期につきましては、8月以降の接種を念頭に準備を進めているところでございますが、大規模接種会場の開設等により、接種会場が拡大していることから、情報収集に努めながら適切に判断してまいりたいと考えております。

社会資本整備事業について
問 波乗り道路陸間の運用について、扉の閉鎖基準、閉鎖されるまでの時間、閉鎖の際の周知方法、高潮等による津波以外での閉鎖、砂の堆積の撤去及び日常的な維持管理について伺います。

答 扉の閉鎖基準につきましては、津波警報、大津波警報が発せられた際、Jアラート受信により、自動閉鎖することを基本としておりますが、千葉県において、関係市町と最終的な調整をしているところです。次に閉鎖されるまでの時間、閉鎖の際の周知方法でございますが、津波警報等が発せられ、陸間に設置されたスピーカーや回転灯、電光掲示板などにより周知が行われ、その後、扉が閉まり始め、設置された扉の大きさにより、津波警報等の発表から約11分から14分で閉鎖が完了するシステムと伺っております。津波以外での閉鎖が緊急時に特例として可能か、千葉県と協議を進めてまいります。堆積した砂などの除去及び日常的な維持管理は、施設管理者の千葉県にて行うと伺っております。

関連質問

土屋 忠和 議員



関連質問

小金井 勉 議員



個人質問

① 新型コロナウイルス接種について
② 公共交通拡充について

蛭田 公二郎 議員



問 白里中央海岸付近、南今泉地区では津波避難施設としてオーシャンビュー白里ダイヤモンドマンション9階建てのビルが、当マンションの方々の協力により、指定されております。先般、県の津波対策事業の一環として当ビルの真下に位置するアンダーパス（波乗り道トンネル）の幅員が、約6.5mと非常に広く改良されました。海域から、陸域に向かい、津波避難を想定し、当アンダーパスをくぐり、オーシャンビュー白里ダイヤモンドマンション避難施設に至るまでの市道に着目を致しました。市道の現況幅員は約2.5mです。当アンダーパスと同じだけの幅員を確保し、津波避難と緊急車両の進入路対策を講じなければなりません。当該市道の拡幅、路面整備について、ご意見をお伺いしたい。

答 現状では緊急車両の通行が難しい状況となっております。現地において本来の道路境界を確定するとともに適正な樹木管理をお願いすることで、緊急車両や津波避難時の海岸利用者の安全な通行が、可能となります。関係者と調整を図り、建設課と安全対策課で連携の上、路面整備等、対応してまいります。

問 主要道路や生活道路において、公共事業の一環で、歩道や道路端の除草作業が、業者施工により見受けられます。雑草を刈り取り、刈った草を集めて搬出する仕事と認識しております。質問の趣旨となりますが、雑草を刈った跡形の「土の塊や堆積された泥」は、撤去すべきと考えますが、ご意見をお伺いしたい。

答 堆積した土砂や泥は、ご指摘の通り草が生育しやすい状況である。県に要望し、土砂除去に努めます。

問 現在の金谷川河川改修事業の進捗について、これまでの経過と、今後の計画についてお伺い致します。

答 準用河川金谷川の整備については2級河川小中川合流点から上流の事業計画区間460mについて、平成25年度に下流側から工事を着手し、護岸工や橋梁の架替え2橋を行い、これまでに132mが完了しているところです。本年度は、地下ケーブルの復旧工事を昨年度に引き続きNITが実施しております。また、工事に必要な用地の協力が得られていない地権者について、交渉を続けているところです。

問 本事業に対する市長の想いと見解をお伺い致します。

市長 金谷川河川改修事業は、防災対策だけではなく金谷川に平行した道路の整備により、駅周辺の交通の円滑化にも寄与する重要な事業です。私としても本事業の重要性を十分認識しておりますので、事業が早期に進むよう、鋭意取り組んでまいります。

問 自主財源の確保について、令和2年度、令和3年3月末のふるさと納税の実績についてお伺い致します。

答 令和2年度におけるふるさと納税の実績は、寄附の受入れ件数が6934件、受入額が1億2371万4000円です。令和元年度と比較しますと、受入れ件数が7.5倍、受入額が約5.1倍の増加です。

大幅なアップで大変喜ばしいことです。本市のふるさと納税がスタートしてから12年がたちました。利用規模も年々拡大し、最近では返礼品だけでなく、寄附金の使い道への関心も高まり、特定の目的を掲げたガバメントクラウドファンディングも増えております。今後も、自主財源確保のため様々な研究をお願いします。

① 新型コロナウイルス接種について
問 ワクチンの接種に際して交通不便者への対策を考えているか

答 ワクチン接種に伴う移動手段の支援等については考えておりませんが、自宅療養等により集団接種会場や個別接種を実施している医療機関に赴くことができない方につきましては、市内の訪問型医療施設やかかりつけ医による訪問での接種をご案内してまいります。

自宅療養の方なども含めて、接種を希望する全ての人が接種から取り残されることのないようご尽力を頂きたい。

また、副反応への対応ですが、ワクチン接種後、中には家に帰ってから、夜中に急に痛くなって夜眠れなくなってしまうという方もいます。1回目より2回目の方が多く出てくると言われています。

副反応が出た時の相談窓口として、24時間対応の「千葉県新型コロナウイルス副反応等専門相談窓口」というのがあります（03-6412-9326）。いろんな機会を通じて丁寧に分かり易く周知をしていただきたいと思います。

② 公共交通拡充について
問 はまバスは9月で契約が終了するが、10月からの次期計画について説明頂きたい。

答 運行期間は、令和3年10月1日から令和5年9月30日までの2年間。運行ルートは、市街地ルートと区内内循環ルートを統合し、現行の市街地ルートにスーパーハイブリッド車の乗り入れを加えたルートに一本化致します。ルートの統合により、運行本数は現行の1日8便から5便に減便致します。地区内の乗降につき

ましては、現行の200円に据え置いた上で、白里地区と大網地区間の大人料金を400円から500円に改定いたします。

問 市は、公共交通にどれだけの財政支出をしているのか。

答 増穂地区コミュニティバスは運行委託料1850万円から運賃収入420万円と、国庫補助金410万円を差し引いた市の負担額1020万円から、その8割、820万円が特別交付税として交付されるため、市の実質負担額は200万円の見込みでございます。次に、白里地区の「はまバス」は、運行委託料750万円から運賃収入100万円と国庫補助金180万円を差し引いた市の負担額は470万円となりますが、同様に特別交付税が380万円交付されるため、市の実質負担額は90万円の見込みです。

これだけ活躍している増穂コミバスが市の持ち分は僅かに200万円。市は現在大変な財政難という状況下ではあるが、公共交通の拡充も益々重要になっていきます。

問 乗り合いタクシーは交通不便地域解消にもなるので、運行について検討しては如何でしょうか。

答 導入に当たりましては、多額の初期費用を要するほか、民間のタクシーやバス利用者の減少が懸念されますことから、現状においてはデマンドタクシーの導入は困難と考えております。

補助金や特別交付税を使えば、例えば御宿町では業費全体の1割位で運行しています。山武地域で乗り合いタクシーを運行していないのは十九里町と本市だけという状況です。ぜひ、前向きな検討をお願いします。